

新型コロナウイルス感染症クラスター（40事例目）について （第5報）

三重県内で発生した40事例目のクラスターについて、2月17日時点の調査状況を報告します。

1 県内40事例目のクラスターの概要

令和3年2月、志摩市内の県立志摩病院で発生したクラスターで、三重県内では40事例目のクラスターとなります。

当病院の職員及び入院患者等から陽性者が複数判明していることから、この病院内で感染が広がった可能性が考えられます。

2 調査状況

病院職員1名（2340例目）の陽性が2月8日に確認され、その接触者調査を進め、検査を行ってきました。

2月16日時点で、病院職員等5名（2340、2345、2355、2374、2393例目）、入院患者等5名（2346、2347、2386、2387、2410例目）の陽性者が確認されています。

現在の検査状況は下表のとおりです。

カテゴリー	検査対象者	検査済数			未検査
		検査済数	陽性数	陰性数	
病院職員等	440	253	5	248	187
入院患者等	77	77	5	72	0
合計	517	330	10	320	187

※上記は人数であり、検査を行い陽性となった際は陽性数に計上しています。

※検査対象者については、現在特定している人数を計上しています。

【参考】クラスター対象外の接触者調査状況

カテゴリー	検査済数	陽性	陰性
家族関係等	15	0	15

3 今後について

県のクラスター対策グループを派遣し、病院内での調査等の支援を行っています。接触者については保健所が調査を進め、随時検査を実施するとともに、健康観察を行っていきます。

※報道機関の皆様へ

本患者様およびその他ご関係者様の人権の尊重および個人情報保護、勤務先等の風評被害防止について、ご理解とご配慮をお願いいたします。